

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

研究グループでは、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	急性呼吸不全を呈する間質性肺炎における非侵襲的呼吸管理の有効性・安全性についての後方視的多施設合同観察研究			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2031 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	研究参加施設に入院し、急性呼吸不全のために経鼻高流量酸素療法（HFNCOT）または非侵襲的陽圧換気（NPPV）による呼吸管理が行われた間質性肺炎の患者さん			
④ 対象期間	2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	別添参照			
⑥ 対象診療科	山口大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科			
⑦ 研究責任者	氏名	村田 順之	所属	呼吸器・感染症内科
⑧ 使用する情報等	診療情報(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、間質性肺炎診断名、身体所見、検査所見(血液検査)、治療情報、HFNCOT および NPPV 使用有無・設定・有害事象・治療期間、挿管有無、気管切開有無、膜型人工肺(ECMO)有無、退院情報、生存情報。			
⑨ 研究の概要	間質性肺炎の急性呼吸不全に対する挿管人工呼吸管理は非常に死亡率が高い一方、低侵襲な非侵襲的呼吸サポートである（HFNCOT）および（NPPV）の有効性については、これまで小規模な研究でしか検証されていません。そのため、これらの非侵襲的呼吸サポートの有効性・安全性の検証は重要な課題となっています。本研究では、間質性肺炎の急性呼吸不全に対して非侵襲的呼吸サポートの治療を行っている複数の病院の治療状況、成績を収集し、本邦における現状把握を行うことを目的としています。また、その情報を基に治療効果に関連する因子を検証することを考えています。 本研究で取得したカルテ情報は、入力の際に個人情報の匿名化を行い個人の同定ができないように致します。そのうえでパスワード保護されたエクセルファイルを通じて公立陶生病院、および JA 広島総合病院へ提供され、データ収集が行われます。収集されたデータはデータ解析者により検証されます			

⑩ 実施許可	実施許可日	2026 年 6 月 16 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。			
⑮ 研究の資金源	呼吸器・感染症内科の奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科 担当者：村田 順之			
	電話	0836-85-3123	FAX	0836-85-3124

別添

研究組織

研究代表者

横山俊樹 公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科

永田一真 神戸市立医療センター中央市民病院・呼吸器内科

研究事務局

公立陶生病院 寺町涼

各研究参加施設と研究責任者

JA 広島総合病院 櫻谷正明

神戸市立医療センター中央市民病院 立川良

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 辻本 佳恵

山口大学医学部附属病院 村田順之

飯塚病院 飛野和則

済生会宇都宮病院 岡森慧

日本赤十字社長野赤十字病院 廣田周子

東福岡医療センター 高田昇平

信州大学医学部附属病院 市山崇史

国立病院機構姫路医療センター 鏡亮吾